

# はかたぎおんやまかさぎょうじ 博多祇園山笠行事

所在地/福岡市博多区  
指定/重要無形民俗文化財



博多祇園山笠行事（木下陽一氏撮影）

「博多祇園山笠行事」は、毎年7月1日から15日まで行われる祭りで、国の重要無形民俗文化財に指定されています。この祭りは、今からおよそ780年前、博多にあるお寺の承天寺を開いた聖一国師が、博多に病気や災いがないよう施餓鬼棚に乗り、祈りをこめた水を撒いて回ったことがその始まりと伝えられています。

山笠台に、博多人形師が丁寧に作った人形などを取り付けた山笠には「舁き山」と「飾り山」があります。「舁き山」は、「流」と呼ばれる博多の中の七つの地域で作られ、行事の期間中には、山笠を舁いた舁き手により山笠が地域を回ります。「飾り山」は、明治時代まで舁かれていた10メートルを超えるような山笠が、当時広がった電気の電線を切るようになり、山笠が現在の舁き山の高さになったため、「飾り山」として飾られるようになりました。

7月1日から15日の祭りの間、各流の当番となった町（当番町）や全流が箱崎浜に行き、祭りの無事を祈り、汐井と呼ばれる砂を持ち帰る「お汐井とり」（当番町は1日、全流は9日）、それぞれの流が地域の中を舁き回る「流舁き」（10・11日、14日）など、様々な行事が行われます。特に、7月15日の早朝に行われる「追い山笠」は、クライマックスの行事です。その年の一番山笠から順に櫛田神社の前の「山止め」を太鼓の音と共に出発し、「廻り止め」と呼ばれるところまで約5キロメートル舁いていきます。

## 【もっとくわしく調べたい】

○博多祇園山笠公式サイト <https://www.hakatayamakasa.com/>

## 【行ってみたい】

○博多祇園山笠 7月1日～15日